

広島テレビ SDGs 推進委員会

## G7 サミット 100 日前！広島市・元宇品海岸 清掃参加の報告

広島テレビは、SDGs 活動として、広島県が設立した、瀬戸内海の海洋プラスチックごみ対策に係る官民連携プラットフォーム「GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム」(GSHIP) の会員となっています。2 月 12 日、海ごみ拾いに社員 1 名が参加しました。その報告です。

瀬戸内海は風光明媚で私たちの生活を潤してくれています。まさに広島県の自然の豊かさ・美しさの象徴です。しかし一方、多くの海洋ゴミが流れついて、大きな問題となっています。調べによると、年間 4500 t のゴミが流れつき、その 16%ほどが海底に沈着しているそうです。残念ながら多くのゴミを海岸や入り江で目にするのも現実です。そのごみ対策は自治体・企業・県民の喫緊の課題です。

晴天の日曜、あさ 9 時、広島市南区の広島港前・広島みなと公園には、「GreenSea」に賛同する企業や、県の職員、地元の方々など 250 人あまりが集まりました。今回は、G7 広島サミット開催 100 日前にちなんでの開催。サミット成功へのメッセージを参加者に書いてもらうブースもありました。メディアの注目も高く、広島のテレビ局が全て取材に来ていました。

開会式の後には、バスに分乗して、サミット会場となるグランドプリンスホテル広島まで移動しました。そこから元宇品の海岸線を歩いて一周しながら清掃を行います。穏やかな波音が聞こえるこの一帯は、地元の方の寛ぎの場所になっています。見た目は目立ったごみもなく非常にきれいです。普段から地元の方が清掃されているそうです。



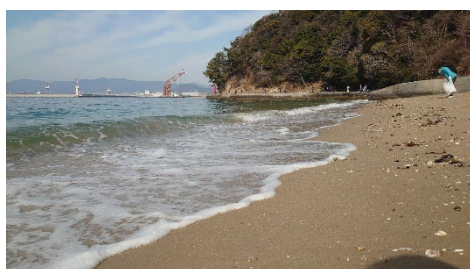
広島市・元宇品



晴天のもと、開会式（広島みなと公園）



グランドプリンスホテル広島から出発



穏やかな海岸線は憩いの場です



移動しながら、清掃していきます

今回の清掃活動は、多くの子供たちも参加していました。強制されているのではなく、しっかりゴミを自分の目で探している光景が印象的です。親子で過ごす大切な時間になるのだろーうと思いました。

「きょうは大きなゴミを拾うことなく終了するのか!」と思いながら歩いていると、残念ながら見過ごせない景色に出会いました。道路と自然林との境に、発砲スチロールが細かく砕けた状態で土に紛れているのです。聞くと、海から波と風で打ち上げられながら細かくなっただけです。数ミリから数センチになった柔らかい粒上の発砲スチロールが、落ち葉の下に埋もれていました。

粒状の発砲スチロールは、散乱していて、拾うに拾えない状態です。指で一つ一つ拾ってみました、すべてを回収できるはずもなく、時間ばかりが過ぎました。すべてを取り除くには土ごと掘り返す必要があるでしょう。

この発砲スチロール問題は、解決すべき大きな課題であり、GSHIPでも議論がされています。瀬戸内海に住む私たちも学ぶことが多いテーマです。



発砲スチロールが落ち葉の下で、土に混ざっています



もろいので、触るとどんどん細かくなります

みんなで回収したごみの量は合計 130kg でした。前回の因島の 210kg よりは少なめです。やはり普段から地元の方が清掃されているのか、大きなごみが放置されておらず、綺麗さが印象に残りました。次回は 3 月にサミット 50 日前イベントとして、宮島で開催です。おもてなしの機運が更に高まっているでしょう。



参加した人たちとの記念撮影です。